



約束 5 テクニック4

# 2本のラインで区切る

4年生

どこに何を書くか決めよう！

ノートにはいろいろなことを書きます。ノートを書いた日の日づけ、教科書の章のタイトル、黒板の内容、先生や友だちの意見などなど。でも、それぞれ書く場所は決まっていますか？ ノートを書くたびに、書く場所が違っては、きれいなノートは書けません。

東大生のノートは、どこに何を書くかが決まっています。そうすると、書くときに手が迷わないし、見直したときに、どこに何が書いてあるかわかりやすいノートになるからです。

ラインを引いてみよう！

何も書いていないノートを前に、ど

うやって書けばいいのかわかったことがあると思います。でも、穴埋め式の問題が印刷されたプリントだと、どこに何を書けばいいかわからず書けずすよね。それは、書くべき場所がはっきりわかるようになっていくからです。だったらキミのノートも、どこに何を書けばいいのかわかるように、ラインを引いて、書く場所を決めてしまえばいいのです。

ただ、ラインを何本も引くのは大変です。おすすめは2本のラインを使ったノートです。引き方は、左のページに紹介してあります。

ラインの幅は、使いながら広くなり、狭くしたり調節をしながら、キミが書きやすいノートにしてください。

田 おうちの方へ

ラインで区切る前に、書きたい要素を洗い出す

お子さまが、まっさらなノートの前で途方に暮れていたたり、バランスよく書いていなかったりするの、どこに何を書けばいいのかわかっているからです。そんなときは、ぜひ2本のラインを引いて、ノートを3つのスペースにわけることをおすすめします。

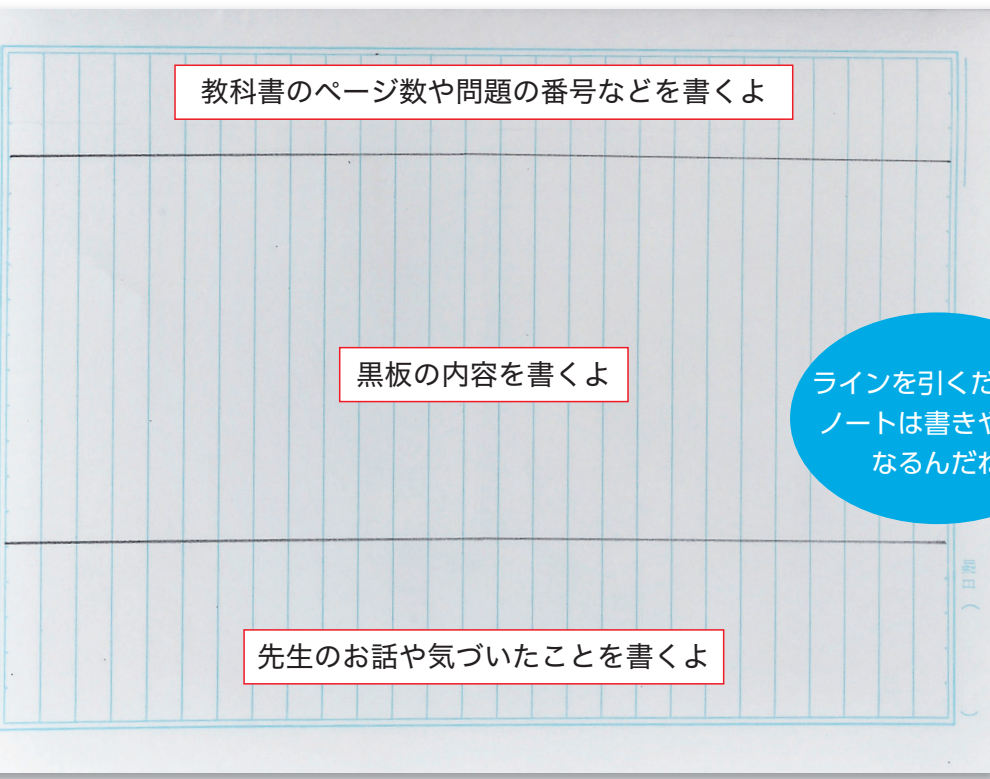
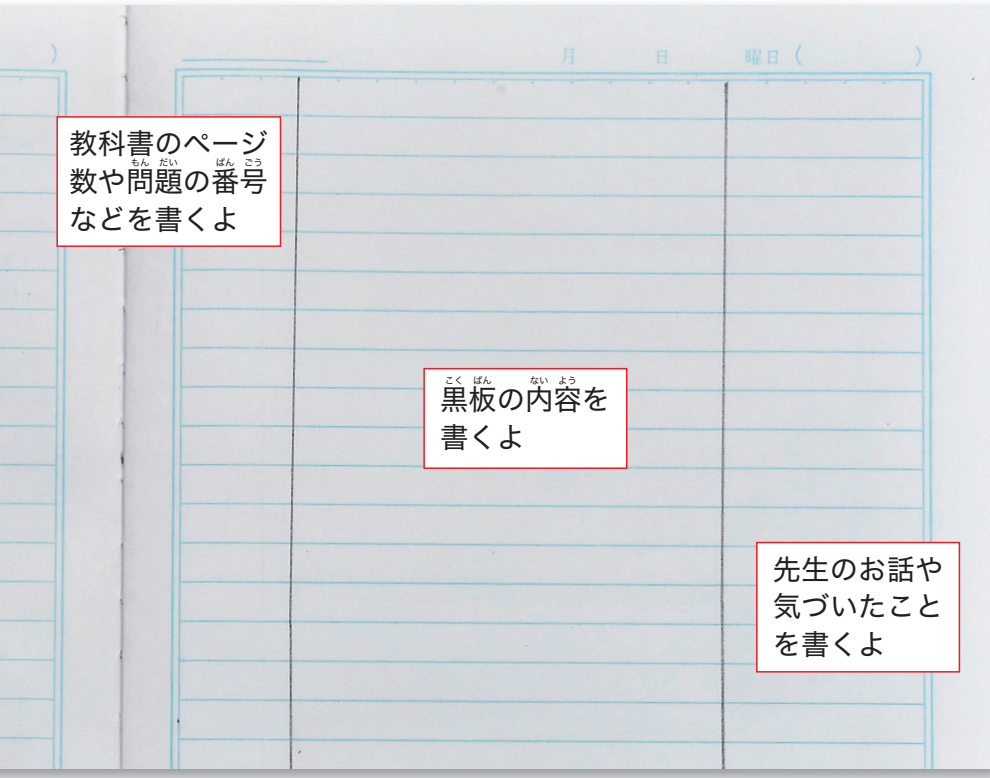
小学生の間は、ラインの位置を決めるのは難しい作業です。一緒に位置を決めてあげてください。以下がラインを決める3つの手順になります。

- ① ノートに書きたい要素を洗い出す。
  - ② 同じスペース内に書くべき要素を、3つのグループにわける。
  - ③ ひとつのグループがどれくらいになるかを考えて、ラインを引く。
- ラインの位置は、ノートを使っていくなかで調節してってください。

# おすすめ2本ラインの使い方

よみ書きノート

たて書きノート



ラインを引くだけで、ノートは書きやすくなるんだね

